

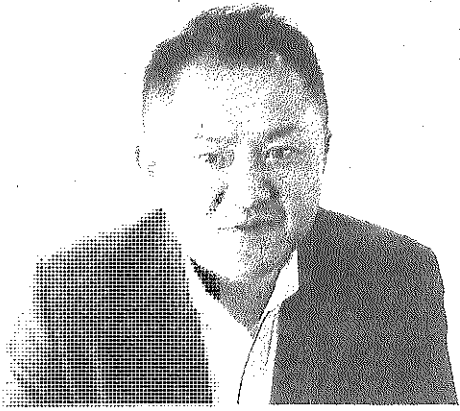
# 日刊静岡

発行所 静岡と生きる  
〒412-0045  
本社 御殿場市川島田1440番地  
TEL (0550)89-8930番  
FAX (0550)89-8932番  
購読料 1ヶ月 1080円 1部 50円

## ぶれずに政策訴える

### 吉川代議士が見解示す

【御殿場、裾野】選挙は七月の参院  
【小山】衆議院議員選とのダブルが見



送られ、しばらく遠のいたという見方が強い。しかし現在の衆議院議員は、十月で任期四年間の折り返しを迎え、これから後半の二年間に突入する。常在戦場の代議士達にとって決して気を緩めることはできない。特に静

【写真】自らの考えを述べる吉川  
代議士

岡五区は全国から注目されている選挙区。これまでは吉川赧、細野豪志の両氏が、与野党の激突という形で五区での攻防の軸を担ってきた。それが自民党議員と自民系無所属議員のぶつかり合いという格好になったためだ。

静岡岡五区での両氏の対決はこれまで三度。平成二十四年十二月の選挙では細野氏が当選し、吉川氏は比例東海ブロックで復活当選。二十六年十二月、二十九年十月の両選挙では、いずれも細野氏が当選。吉川氏は比例区での復活はならなかった。しかし今年三月、比例東海の自民党現職議員が辞職したこと、吉川氏が繰り上げ当選。このため次回衆院選は現職同士がしのぎを削ることになる。

吉川氏はこのほど裾野市内で取材に応じ、約四十分のわたって現在の率直な考えを述べた。主なやりとりは次の通り。

―代議士が政治家を目指したきっかけは。

吉川 代議士若者世代、また責任世代として立候補した。当時は自民党が下野し、自民党はもう政権復帰できないと言われていた。無鉄砲な方なので(笑)。

―細野代議士と小選挙区でこれまでも三回戦っている。結果をどう見るか。

吉川 政策はぶれることなく訴えることができたと思っっている。

―細野氏の一連の動きをどう受け止めているか。

吉川 器用な人だなと思う。ただ、細野さんについて、どうこうと口にしていないことにしている。私は変わらなう。私はず、自民党公認候補として訴えていくだけだ。

―今年三月に議員に復帰して半年になるが、どういう取り組みに力を入れていくことを考えているのか。

吉川 東京オリエンティックに向けて、周辺の道路整備を進めたい。私も自転車に乗るので。新東名の片側三車線化も進めたい。御殿場、裾野、小山は東京に近く、アクセスしやすい。御殿場は観光などに力を入れている。裾野は県東部のハブ的存在になれているのでないか。小山は企業誘致などに力を入れている。

―解散の時期をどう見ているか。

吉川 分からないというのが正直なところだ。

―次期選挙での勝算は。

吉川 努力次第だと思っ。選挙区内を回らしてもらっている。集会も開いている。

―地元の政界スズメの中には、二人の攻防について、「攻めの細野、守りの吉川」と指摘する向きもあるが。

吉川 (首を傾げながら) それなら自民党の候補者は皆、守りの選挙ということになっってしまう。

―どういう角度からでも、何か発言があれば。

吉川 政治家が、「私がやりました」という時代ではな

い。国が優先度を決めた上で予算をつけるのだから。―お忙しいところ時間をとっていただき、ありがとうございました。